

事業の概要

2005年日本国際博覧会のあらまし

環境計画の検討体制

“人と自然との新しい関係を追求する博覧会”を目指して

博覧会の名称	2005年日本国際博覧会
開催期間	2005年3月25日から同9月25日まで(185日間)
会場候補地(検討中)	瀬戸市南東部及び隣接地
会場候補地の規模	海上地区:約540ha 青少年公園地区:約200ha 科学技術交流センター地区:約20ha
想定入場者数	約2,500万人



これまでの会場候補地エリアの変遷

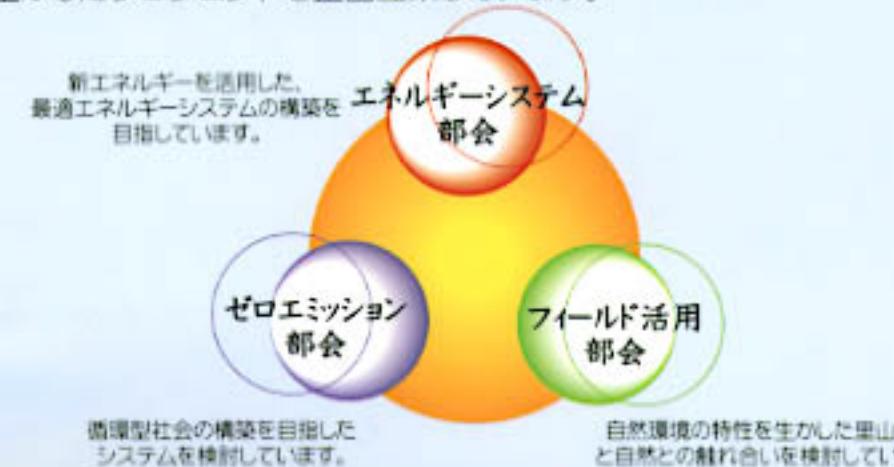
本博覧会は、現在までに希少な動植物や湿地などの保全のため会場候補地の面積や区域設定を変更してきました。



博覧会協会では、人と自然との新しい関係を追求する会場計画を策定するために環境プロジェクトチーム(環境P.T.)を設けています。また、適切な環境影響評価を行うために環境影響評価アドバイザーミーティングを設けています。

【環境P.T.】

新エネルギー、省エネルギー、リサイクル技術の先進的な導入や自然を生かしたプロジェクトを企画立案しています。



企画調整会議

【コンセプトP.T.】

【会場計画P.T.】

【観客輸送P.T.】

【環境影響評価アドバイザーミーティング】

博覧会協会が実施している環境影響評価に対し、専門的な観点から意見を頂き、適切な環境影響評価を行えるようにしています。



④環境負荷のより一層の低減を図ること、また、会場候補地内においてオオタカの巣築が確認されたことなどから、これまでの会場候補地約540haに加え環境保全面積として青少年公園地区約200ha、科学技術交流センター地区約20haを会場エリアとして利活用することとしました。